

Q&A

日本経済新聞社 編

デノミ 100問 100答

なぜデノミが必要か
準備はどこまで進んでいる
便乗値上げは防げるか
デノミのコストは誰がも
デノミでうるおう業界は
外国の経験から何を学ぶ

Q&A

デノミ
100問100答

日本経済新聞社

デノミ 100 問 100 答

編者 日本経済新聞社

© The Nihon Keizai 1978

昭和53年3月13日 1版1刷

発行者 黒川 洸

発行所 日本経済新聞社

東京都千代田区大手町1-9-5 (郵便番号100)

電話(03)270-0251 振替 東京3-555

印刷 東光整版印刷 製本 トキワ製本所

(分)3033(製)8241(出)5825

本書の無断複写複製(コピー)は、特定の場合を除き、著作者・出版社の権利侵害になります。

まえがき

「景気が回復したらデノミを実施したい」——福田首相が新年早々の記者会見でこう述べてから、デノミに対する話題が新聞や雑誌の紙面をにぎわしています。

もちろん、デノミについて積極的に発言したのは福田首相がはじめてではありません。戦後、わが国の首相でデノミを口にしなかった人は、むしろ珍しいといわれるくらいです。これらのデノミ発言はいずれも機熟さず、浮かんでは消える運命をたどってきました。

しかし、今回の福田発言に関する限り、「どうも今度は本物ではないか」という見方が少なくないようです。その見方を裏打ちするように、大蔵省はいま「デノミ図上作戦」を真剣に検討しています。「日本でデノミを実施するとすれば、どんな方法がいいか」を想定して、デノミへの準備を進めているのです。表面的にはデノミに慎重な態度をとっている野党や財界も、デノミそのものに反対の意見は少ないようです。とすれば、デノミ実施の足音はしだいに近づいているとみていいでしょう。

デノミでおカネの呼び方が変わるようになれば、私たちの生活も大きな影響を受けるでしょう。月収二十万円の給料が二千円に、百五十円のたばこが一円五十銭にという変わり方だけなら、まだ頭のなかで計算ができます。それでも古いおカネを出して新円でおつりをもらったら、何か損をしたような錯覚にとらわれるかもしれません。まして私たちの財産がデノミでどうなるか、不安な人も多いに

違いありません。「デノミは経済的には中立的に働く」といわれても、預貯金やタンス預金がどうか、財産調査や資産の再評価などをデノミと同時にやるのではないかと等々、デノミに対する疑問符は尽きないといえるでしょう。

個人の生活だけではありません。値札の付替えから電算機のプログラム変更にいたるまで、企業の経営にも大きな影響が及ぶでしょう。景気や物価への影響にしても「まったくない」とはいきれないのが実情です。

政府はデノミを正式にやることを決めたわけではありません。しかしデノミに対する心の準備だけはしておく必要がある情勢なのです。本書はデノミに対する数多くの疑問に答えながら、デノミの意味やねらい、国民生活への影響などを平易に詳しく編集してみました。

昭和五十三年三月

日本経済新聞社

目次

1 近づくデノミ

1	デノミとは何のことですか.....	12
2	福田首相のデノミ発言の真意はどこにあるのでしょうか.....	14
3	デノミの準備はどのくらい進んでいるのですか.....	16
4	デノミ論議が現実味を帯びてきたのはどのような背景からですか.....	18
5	デノミを実施するにはどのような条件が必要ですか.....	20
6	デノミ実施の環境は整ってきたといえるでしょうか.....	22
7	デノミを行なおうとする理由は何ですか.....	24
8	デノミ反対論の根拠は何ですか.....	26
9	経済界ではデノミについてどのような反応をみせていますか.....	28
10	野党はデノミに対してどのように主張していますか.....	30
11	保革伯仲国会はデノミ論議にどう影響しますか.....	32

2 デノミの準備

12	デノミはどのような手続きを踏んで実施されるのですか	36
13	デノミ宣言の内容はどのようなものになるのですか	38
14	宣言から実施までにはどのくらいの期間が必要ですか	40
15	新旧の両通貨はどのような形で流通するのですか	42
16	新旧通貨の切替えが完了するまでにはどのくらいの期間がかかりますか	44
17	デノミ実施でどんな法律が改正されるのですか	46
18	野党が国会で反対したら、デノミは実施できなくなりますか	48
19	国民へのPRはどのように進められるのですか	50
20	デノミの実施にはどのくらいの費用がかかりますか	52
21	デノミ実施のコストは誰が負担するのですか	54
22	外国への通告はどのように行なうのですか	56

3 デノミの実施

23	「円」の呼び方も変わりますか	60
24	いまの百円がいくらになるのですか	62
25	新しいお札や硬貨は何種類くらい発行されるでしょうか	64
26	銭や厘は復活するのですか	66

27	新しいおカネはどこで、どのようにしてつくるのですか……………	68
28	新しいおカネをつくるコストはどのくらいですか……………	70
29	古いおカネはどのようにして回収、処理するのですか……………	72
30	新旧両通貨の併用で混乱が生じることはないでしょうか……………	74
31	デノミによる新しい貨幣のデザインはどうなりますか……………	76
32	デノミの代わりに高額紙幣を発行することもありますか……………	78
4 デノミと経済		
33	景気が悪いとなぜデノミの実施がむずかしいのですか……………	82
34	デノミで景気はよくなりますか、悪くなりますか……………	84
35	デノミ需要とはどんなもので、どの程度の規模になりそうですか……………	86
36	デノミを実施すると物価の動向に影響を与えますか……………	88
37	便乗値上げの心配はないでしょうか……………	90
38	デノミを実施すると、戦前の物価水準に比べてどうなりますか……………	92
39	デノミで経済恐慌が起るようなことは考えられますか……………	94
40	一般消費税の導入とデノミが重なると、インフレになりませんか……………	96
41	デノミを実施すると賃上げ攻勢が強まるというのはほんとうですか……………	98
42	デノミは為替レートに影響を与えますか……………	100

43	「内に弱く外に強い」といわれる円の体質は変わるでしょうか.....	102
44	海外送金など、外国取引の面で混乱が生じることはありませんか.....	104

5 デノミと暮らし

45	古いおカネと新しいおカネはいつ、どこで交換するのですか.....	108
46	旧札や旧硬貨を期限内に交換しそなたらどうなりますか.....	110
47	旧札や旧硬貨をもっていると将来値上がりするでしょうか.....	112
48	沖縄でドルと円が交換された時には混乱は起きませんでしたか.....	114
49	買入物がめんどろなことにしなれませんか.....	116
50	公衆電話や自動販売機などは全部新しくなるのですか.....	118
51	便乗値上げの防止はうまいくでしようか.....	120
52	おカネの貸し借りはどうなるのですか.....	122
53	「デノミ犯罪」といったことは考えられませんか.....	124
54	海外旅行をする時にはどうなりますか.....	126
55	外国で日本円を使う時はどうなるのですか.....	128
56	デノミを行なえば「一円」を大事にするようになるでしようか.....	130
57	デノミ情報を得るにはどうしたらよいのでしようか.....	132

6 デノミと資産対策

58	デノミで損得関係が生じますか.....	136
59	デノミで預貯金はどうなりますか.....	138
60	公社債や保険契約などはどうなりますか.....	140
61	デノミの前に金や宝石を買っておくと得をしますか.....	142
62	デノミで土地は値上がりするでしょうか.....	144
63	デノミでタンス預金が明らかにになると、税金をとられませんか.....	146
64	デノミは株式投資のチャンスですか.....	148
65	デノミ関連株とは何ですか.....	150
66	デノミを機会に財産税が導入されることはありませんか.....	152

7 デノミと企業経営

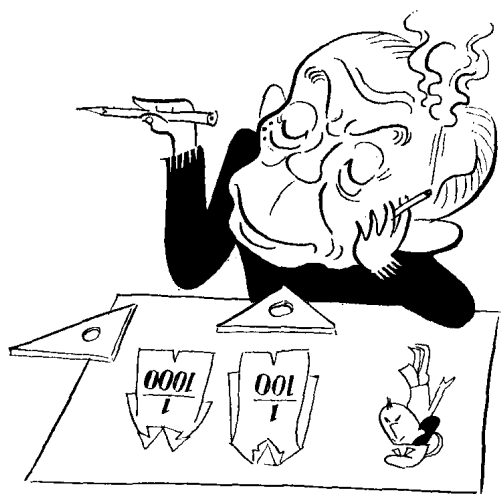
67	資産再評価も同時に行なわれる可能性はありますか.....	156
68	資産再評価税が課せられることはありませんか.....	158
69	国内取引、輸出入などにどんな影響が現われますか.....	160
70	企業の帳簿や伝票などは全部書き替えるのですか.....	162
71	デノミによってどんな書類の書替えが必要になりますか.....	164
72	手形、小切手の振出、決済にはどんな注意が必要ですか.....	166

73	デノミに伴って会社決算上に何か問題を生じますか……………	168
74	コンピュータ・システムの切替えはどうなりますか……………	170
75	デノミを実施すると、株式の額面はどうなるのですか……………	172
76	デノミがプラスになるのはどのような業界ですか……………	174
77	デノミがマイナスになるのはどのような業界ですか……………	176
8 デノミ論の流れ		
78	過去にどのようなデノミ論議がありましたか……………	180
79	大蔵省がかつて極秘にデノミの準備を進めたというのはほんとうですか……………	182
80	デノミに関する「近藤委員会」とは何ですか……………	184
81	戦後の通貨改革と比べて、デノミにはどんな特徴がありますか……………	186
82	終戦直後の新円切替えとはどう違いますか……………	188
83	デノミが「インフレの後始末」といわれるのはなぜですか……………	190
84	デノミネーションとデバリュエーションはどう違うのですか……………	192
85	デノミを実施すると国際信用が高まるのですか……………	194
86	デノミの語源は何ですか……………	196
87	わが国で「円」が使われだしたのはいつですか……………	198
88	現在の千円札が五十一年に一部変更されたのはなぜですか……………	200

9 外国の例と教訓

89	これまでデノミを実施した国はどのくらいありますか.....	204
90	各国のデノミにはどんな特色がみられますか.....	206
91	デノミに失敗した国はありますか.....	208
92	模範的デノミといわれるフランスの場合はどんな方法をとりましたか.....	210
93	デノミを実施した後のフランス経済はどうなりましたか.....	212
94	フランスのデノミが成功した秘訣はどこにあるのでしょうか.....	214
95	ソ連の場合はどのような特徴がありましたか.....	216
96	韓国で行なわれたデノミはどんなものでしたか.....	218
97	英国が十進法に切り替えた時はスムーズにいききましたか.....	220
98	各国は便乗値上げの防止にどのような措置をとりましたか.....	222
99	わが国の場合、どのような点を学ぶべきですか.....	224
100	デノミを成功させるにはどうしたらよいのでしょうか.....	226
索引		230

1 近づくとデノミ



？ ①

デノミとは何のことですか

通貨単位の呼び方を変更すること
とで、おカネとモノとの関係に
変化はありません。

政府はデノミを実施する場合、事前に大作戦を展開することを検討しています。また大がかりな世論調査をやったかどうかという声も出ています。それというのも、デノミが最近、現実味を加え、国民一般の関心が急速に高まってはいるものの、デノミについての正しい理解がまだ十分でないと思われるためです。誤解があるままデノミを実施すれば、ことは国民一人一人の毎日の生活のすみずみにまで関係するおカネの問題ですから、混乱、摩擦がひどくなりかねません。

デノミというのは、デノミネーション (denomination) の略で、もともととは貨幣や度量衡などの「単位の呼称」を意味する言葉です。これを現在では「通貨の単位の呼び方 (通貨の呼称単位) の一律変更」、特に一律な切下げの意味に使っており、いま議論されているのも後者の「一律変更」のことです。

たとえば百分の一のデノミを実施する場合は、従来の百円が一 (新) 円になり、これに合わせてすべての物価、賃金、有価証券、貸借関係などの金銭表示が一律に百分の一に切り下げられ、新しい通貨単位で表示されます。いまの月給が十万円で、二万円の背広が五着買ったとします。デノミ後の月給はゼロが二つとれて千 (新) 円になり、大幅な賃下げになったような錯覚を起こしがちですが、背

1 近づくデノミ

広の値段も二百（新）円になりますから、月給でやはり五着の背広が買えるわけで、おカネとモノの関係はまったく変わりません。

ですから、小人国にいったガリバーみたいに、生活の尺度が突然違ってびっくりするようなことは、ほんとうは起こらないはずです。もう一度、例をひいて考えてみましょう。

数年前から、わが国のゴルフ場のコースの距離表示が従来のヤードからメートルに切り替えられましたが、一ヤードは約〇・九一四メートルという関係から、メートル表示の方が約一割数字が少なくなり、四百ヤードのホールは三百六十五メートルになり、一見距離が短くなったのかと錯覚しますが、表示単位が変わっただけで、実際に歩いてみれば距離はまったく変わっておらず、プレーのむずかしさにも変化はないわけです。デノミもこのゴルフ場の距離表示の変更と同じと考えればよいでしょう。ですから、デノミは経済活動に対しては本来、中立というのが原則です。

しかしそれでも、これまで流通しているおカネの呼び方が変わるので、デノミは「通貨秩序の変更」という国家的な規模での大事業になります。国民生活の面でいえば、「ガリバーの驚き」という側面は否定できませんし、経済活動の根幹であり、血液の役目を果たしているおカネのルールが変われば、経済全般に多大な影響を与えざるをえません。

デノミは単純なことで、ゴルフ場の距離表示の変更と同じだといっても、それでデノミの全体の姿を説明したことにはなりません。このへんにデノミをめぐるさまざまな議論や混乱、不安などが生じてくる背景があるといえましょう。

？ 2

福田首相のデノミ発言の真意はどこ

にあるのでしょうか

アドバルーンという見方もあります
ますが、やはり是非実施したい
という意思の表われでしょう。

デノミ論議に火をつけた五十三年一月四日の首相の発言を紹介しましょう。

「私はデノミ推進論者だ。早く経済を安定させて、デノミを断行したいと考えているが、いまやるかとなると、条件が整わなければならない。条件は①国際収支の堅調、②物価の安定、③景気情勢の安定——である。このうち国際収支と物価については条件が整ってきている。ところが景気回復がまだなので、いまからデノミ宣言するのは妥当でない。早くトンネルを脱け出して、デノミ宣言をできるようになってほしいなあとと思う。ただ宣言しても一、二年後に実施に移るもので、一挙に現在の札を新しい札に切り替えるのではない。実施後も新旧両方の札を併行して使うので、物価にはいささかの影響もない。財産税の導入については毛頭考えていない」。

みずから発言しているように、福田首相は前からデノミ推進論者でした。昭和四十四年、大蔵大臣のポストにあつた時、すでに「物価の安定を条件に将来やらなければならない」と発言しています。その後も機会あるごとにデノミの必要を説いています。

したがって今度の発言も、かねてからの考えの延長線上にあります。しかし今度の場合、デノミ実施のための条件を示したり、新旧両方のお札の併用方式を明らかにしたり、また財産税を否定した